

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4185295号  
(P4185295)

(45) 発行日 平成20年11月26日(2008.11.26)

(24) 登録日 平成20年9月12日(2008.9.12)

(51) Int. Cl. F I  
 F 2 1 S 2/00 (2006.01) F 2 1 S 1/00 E  
 H O 1 L 51/50 (2006.01) H O 5 B 33/14 A  
 F 2 1 Y 105/00 (2006.01) F 2 1 Y 105:00

請求項の数 13 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2002-56031 (P2002-56031)	(73) 特許権者	000005821
(22) 出願日	平成14年3月1日(2002.3.1)		松下電器産業株式会社
(65) 公開番号	特開2002-334602 (P2002-334602A)		大阪府門真市大字門真1006番地
(43) 公開日	平成14年11月22日(2002.11.22)	(74) 代理人	110000040
審査請求日	平成17年2月8日(2005.2.8)		特許業務法人池内・佐藤アンドパートナーズ
(31) 優先権主張番号	特願2001-63058 (P2001-63058)	(72) 発明者	松尾 三紀子
(32) 優先日	平成13年3月7日(2001.3.7)		大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
(33) 優先権主張国	日本国(JP)	(72) 発明者	佐藤 徹哉
			大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内
		(72) 発明者	杉浦 久則
			大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器産業株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 発光装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板上に、一对の電極と、前記電極間に配置した発光層とが積層された発光素子が、基板上に複数配設された発光装置であって、

前記発光素子の発光面が前記基材に対して立ち上がり方向に位置しており、

前記発光面からの面発光が、前記基板と対向する側又は前記基板側から取り出され、

前記発光素子に流される電流が、前記発光素子の電流・電圧特性において、電圧を増加したときに電流の増加しなくなる電圧領域における電流値の50%以下であることを特徴とする発光装置。

【請求項 2】

前記発光素子が、帯状に形成されている請求項 1 に記載の発光装置。

【請求項 3】

前記発光素子が、短冊状に形成されている請求項 1 に記載の発光装置。

【請求項 4】

前記発光素子が、筒状又は柱状に形成されている請求項 1 に記載の発光装置。

【請求項 5】

前記発光素子が、多孔状に形成されている請求項 1 に記載の発光装置。

【請求項 6】

前記発光素子が、各発光素子を複数個積層してなる積層型発光素子である請求項 1 に記載の発光装置。